



江川せせらぎ遊歩道の交通安全について

下小田中交通部連絡協議会・会長 朝比奈 義和

去る、5月11日(金)午後3時より、中原・高津両区の道路公園センター職員と森とせせらぎネットワーク幹事会・交通部会立会いのもと、小関橋と明津橋の見聞が行われました。

見聞の結果問題となったのは、小関橋付近はカーブミラーの設置と横断歩道の塗り替え、明津橋付近は同じくカーブミラーの角度調整と横断歩道の設置ですが、横断歩道の塗り替えに関しては、両区の警察署が連携して別途

見聞に来てくれることになっており、現在は見聞日程を調整しているようです。速度を抑制するための道路の凹凸もひとつの案として出しましたが、近隣への騒音となるため難しいということでした。これから夏本番、夏休みには多くの子供達がザリガニ釣りに訪れるでしょう。歩行者・自転車そして自動車は、お互いに交通ルールを守って、是非交通安全にご協力をお願いいたします。

シンポで熱い議論 そして成果

せせらぎネットワーク事務局長 田辺 勝義

6月17日(日)に「どうするせせらぎのこれから」という 주제로シンポジウムが行われ、川崎市担当課長、町会長、学校長の報告に対して熱く真摯な質疑応答が展開された。議論が引き締まっていたのはこの間に、生徒も含めてアンケートを取り、せせらぎを再調査して「要請」を行い、市の「回答」が来ると、再度「質問」を出し、その「返事」を市が持つてくるといいう形にしたからだと思われ



中谷俊文乃作 根川緑道の風景

議論の中心は、腐った柵、枯れてしまった植栽、悪臭を放つ藻、せせらぎの水質をどうするかなどであった。川崎市の担当者は誠意ある対応をした。放置自転車等の撤去、利用上の諸注意の立て看板、切れた街灯の付け替え、アスレチックの劣化した部分の取替えが実現する。早速の具体的効果である。

腐った柵などについては更新計画を策定する事になり、枯れた植栽については植える種類なども含め住民と協働して行いたいというので、私達は歓迎し、できることは協力すると表明した。



一番困ったのは、水質を良くして藻の発生を抑え、悪臭を無くす方策であった。私達は立川市の根川緑道を見学し水質を示すBODやCODなどの比較データも示して、返事を待った。いずれの値も江川は根川に比べ数倍以



小関橋に新設されたカーブミラー

根川緑道を歩いて

多賀すみ江

江川せせらぎ遊歩道と同じ人口河川である東京立川市の根川緑地公園を立川市役所の職員に説明案内していただき散策してきました。

根川緑地公園は平成4年度から平成8年度の5年で高度処理水を利用して総延長1.3キロメートル、面積3万5千方メートルの人工河川・緑地公園に改修されました。

完成から十数年経過し、人工河川とは思えないほど自然な趣の武蔵野風景になっていました。川幅、側道も広く、沿線にはプールや体育館、競技場などの施設も充実していました。

側道、川岸には桜、クヌギなどの大樹、シャガ・ギボウシなどの雑林、セキレイコガモ・カワセミなどの野鳥、水中にはザリガニ・ドジョウ・ウグイなど、水生動物、水生植物は自然のままに生息しているそうです。

私達が訪問したのは5月の連休明けでしたので桜の時期は終わり葉桜になっていましたが、開花の時期には上野公園を思わせるほど新入社員らしき人がお花見の場所取りにきているほどの賑わいだそうです。

下水道処理場の説明・見学もできました。森林浴でリフレッシュ、楽しい研修の一日でした。

せせらぎネットワーク・関連団体 イベント紹介

- せせらぎ灯ろう流し
8月19日(日) 夕暮れころから
・問合せ76615315田辺
- せせらぎ美化活動
8月5日(日) 8時〜
森とせせらぎ祭
- 10月28日(日) 9時〜高津区橋公園・せせらぎ遊歩道・新城公園ほか
- 神庭緑地を楽しむ会
草刈など協力いただける方は
76616434戸枝まで

ひとみ座
第5回こどものための乙女文楽教室
問合せ・77712228 塚田/鈴木まで

連載 各地の祭を訪ねて⑭

伝統の大垣まつり再見

佐藤 克明

二年前に紹介した大垣まつりですが、戦災で失った山車(だし)が六十八年ぶりに二輛復活したと聞いて再訪しました。全部で十三輛が早朝から神社と市役所前で奉芸をし、決まったコースを巡行します。

山車の復活には、祭に関する詳細な調査を含めて、文化庁から数千万円の助成を得るために、頼まれて私も関わったので、壮观と盛況を見て、感慨ひとしおでした。

今年五月十二、十三日開催でした。初日を試楽(しがく)、翌日を本楽といい、どちらも同じように朝六時過ぎに山車倉を出て、奉芸、巡行、間に休憩はしますが、夜十時過ぎに倉に収めるまで、年配の役員から若手の多い山車の引き手まで、体力気力が要ります。全部を取材した私も・・・とくに、城主から贈られたという山車の恵比寿さまの頭(かしら)を外して、神社でお祓いを受け、翌年の当番に渡す御頭渡の口調で「お渡し申しそうろう」などというもので、まことに珍しい見ものでした。三百六十年の歴史の中には、戦時中の米軍の爆撃のさなか、自分の命や家の火事よりも、当番で預かっていた恵比寿さまの頭を、文字通り命がけで持ち出して守った、



という事実もあると聞きました。祭に込めた人びとの思いを、深く感じたことでした。

2年前の⑧大垣まつりの記事で、「大垣は松尾芭蕉の終焉の地」としたのは誤りで、「芭蕉が奥の細道を終えた地が大垣」という訂正をさせて頂き、ここにお詫びいたします。



シリーズく地産地消く

中原・高津の農家

これまで紙面で紹介してきた農家は中原区の農家ばかりだったので、今回は高津区の一番目として、森正さんの養鶏場と畑にお邪魔してお話を伺ってまいりました。

上の写真はこれから川崎だけでなく都内の市場にも出荷する予定の湘南レッドという品種のたまねぎです。冬の気温が例年より低かったため、今年は小ぶりだと仰っていました。

これまで取材した農家の殆んどのご主人は、町会その他のお付き合いが忙しいとのことでしたが、森さんも例外ではないようです。この地で二百年以上も農業を営んでいると、役所の職員でさへいろいろなこと



聞きに来る。だってだれも知らないんだから仕方が無い。忙しい訳をそんな風に教えてくれました。養鶏場では2500羽の鶏を飼育していて、一日に2000個生産される卵は直販所で売り切れてしまうそうです。鶏糞を使った豊かな畑では、夏野菜がすくすくと育って収穫時期を待っています。

記事・本間 森さんの直販所 高津区子母口 227 連絡先 766-17410



連載 「詩吟—続」

稲本吼信



を、だいなしにしてしまう事になる為、緊張し体が硬くなるのを感じます。また、宴会などで、カラオケセットを使っている時は、カラオケで歌う時より、詩吟をやる方が、あがったりします。

自分なりに分析してみると、やはり一番の要因は慣れていない事、舞台は目線が高く、会場は薄暗い為、観客の表情は余り気に成りませんが、座敷などでは、目線が低く、聞いている人の表情などがはっきり分かる為、気が散って落ち着きません。もう一つは、気持ちの問題です。カラオケはそこそこ人並みにやれば、上等と思っますが、詩吟は一応師範なので、甘く出来て当たり前? 吟友達の前でやる場合は、聞いている方々が、詩吟の難しさを知っているの、ソコソコ失敗無しにやれば、良いと思っっています。知らない方々はカラオケと同様に聴いているの、失敗せず甘くやろうとする。こんな事が要因となって硬くなり「あがり」を覚えるの、どうと思っます。

いづれにせよ、私は心理学者では有りませんが「あがり」の対策を述べた書籍を盗み看ることに致しました。(次回は「あがり」の研究とその治療法について触れてみましょう)

「あがり」を克服するには如何すればよいのでしょうか? かく言う自分も、あがりです。舞台上で普通に独吟をする時は「あがる」と言う感じは有りませんが、詩舞に吟を付ける時や、構成吟の独吟の時などは、失敗すると、他の方々の出来栄えまで